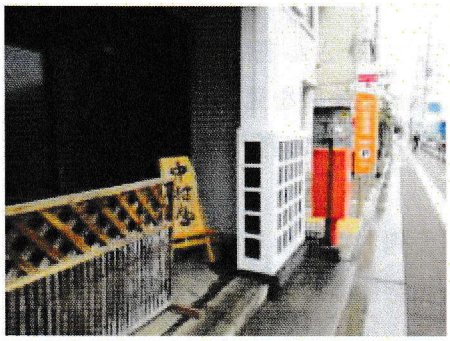
「まちかど写真館 in ひの - 日野宿-」再び（第27弾）

平成２０（２００８）年５月から９月にかけて開催した「まちかど写真館 in ひの」で展示した写真パネルに、新たな写真を加え、再び日野宿内に展示しました。１月から開催中の日野駅開業１２０周年記念写真展（９月末まで開催）、加えて８月からは、旧オリエント時計、現セイコーエプソン前フェンスをメイン会場とした谷仲山地区の写真展（１２月まで開催、一部そのまま展示中）、さらに９月の八坂神社玉垣展示と続き、一時最大１８０点近い写真パネルがまちかどに展示されました。

特別公開「渡邊家の店蔵」

東京都歴史的建造物に指定された日野駅前郵便局隣の渡邊家（中村屋）の店蔵が５月９日（日）限定で一般公開されました。建設されたのは江戸末期から明治初期といわれ、当初は土蔵だったものを、昭和５（１０３０）年に大谷石による張石蔵へと改修されたということです。また昭和３０（１９５５）年ごろには日野医院として使用されていたこともあり、日野宿の歴史を物語る貴重な建物と言えます。



なお、「ひの新選組まつり」の８日（土）、９日（日）に開催されたスタンプラリーのチェックポイントだった日野図書館、佐藤彦五郎新選組資料館、土方歳三資料館にて、日野宿発見隊のメンバーが受付を担当しました。当日はかなりの暑さで、メンバーの一人が鼻血を出すといったハプニングもありました。

また、日野宿発見隊では、現在、宿内の屋号看板を製作中ですが、この新選組まつりに際して行われたスタンプラリー用に＜次頁写真向かって左＞のような、直径９５ミリの大型判子と、同時に佐藤彦五郎新選組資料館の判子も彫らせていただきました。素人の彫り

で少々気恥しいところもありましたが、当日は新選組まつりで日野を訪れた観光客の方々にも大いに喜んでいただけたようです。なお、大型判子の印章部分はゴムで、本体部分は「人形の鈴藤」さんからいただいた、人形用の矢立に用いられたというケヤキ材をそのまま使いました。

その後、余勢を駆って＜写真向かって右＞のような直径５５ミリの小ぶりの判子も制作。この判子は日野図書館所蔵新選組関係資料の蔵書印として使われることになりました。

内山文子さん宅にて上映会（番外編）

５月２０日（木）午後、東豊田にお住まいの内山文子さん宅に猪鼻洋助さんと石嶋（図書館）が伺い、日野宿発見隊でお預かりしている写真や映像を見ていただきました。ちょうどこの日は、尋常高等小学校時代の同級生が集まっての茶話会があるというのでご一緒させてもらいました。

内山さん（後列左から４番目）や戸高さん（後列右端）からはこれまでに多数写真をいただいていますが、この日上映した写真や映像を皆さんとても懐かしがっておられました。

なお、内山さんは仲町のご出身で、日野尋常高等小学校第八代佐野鶴松校長先生のお孫さんにあたる方です。当日お集まりの大先輩たちのお元気な姿にただただ頭の下がる思いです。

ＪＲ日野駅より感謝状授与される！

５月２８日（金）、日野市役所５０５会議室にて、日野駅開業１２０周年記念事業を開催した日野ケーブルテレビ、日野市立図書館、日野宿発見隊の３団体に対し、ＪＲ日野駅より感謝状が贈呈されました。日野宿発見隊からは滝本代表をはじめ１５名が出席。小川副市長の祝辞の後、山下駅長より３団体代表に感謝状が贈呈され、最後にケーブルテレビの「ぴーのくん」といっしょに記念撮影をして閉会しました。

加地蔵（かじぞう）さん、日野一小へ

６月１７日(木)、加地蔵（かじぞう）さんこと、加地勝さんが日野一小４年２組のクラスにお地蔵さんについての出前授業（お話）に行ってきました。

これは日野宿発見隊と地域の学校ＰＴＡ、商店会などと現在進めている、日野宿に関する子ども向けの歴史の本（仮称「ひのっ子日野宿発見」）制作の一環として、今の子どもたちの反応を直接知りたいとのことで行われたものです。

６月２４日(木)には、５年２組のクラスでも行われましたが、学校の周りにもお地蔵さんがたくさん存在するためか、とても身近な存在として見ているようで、なかでも、「霊界」という言葉に興味を示す子が結構いたのに驚きました。

なお、加地さんは日野歴史と民俗の会の会員でもあり、日頃からお地蔵さんの研究に取り組まれています。

日野宿子ども発見隊「まちを調べよう パート１」

連日の猛暑のなか開催が危ぶまれていましたが、７月２４日（土）の午前中、総勢３９名（スタッフ込み）の参加をえて約３時間弱のまち歩きを開催することができました。

日野図書館に集合・点呼ののち、この日のために作った特製「日野宿子ども発見隊」缶バッジを胸に付け、「ひのまちなぞQ」を手に取りいざ出発となりました。コースは次の通りです。

日野宿子ども発見隊
特製缶バッジ

日野図書館　昔は郵便局だった！

日野宿交流館
日野宿のジオラマ見学

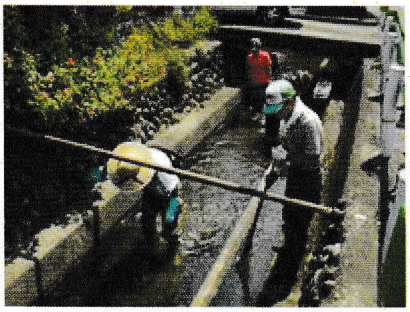
東の地蔵　その昔、ここに西明寺という寺があったらしい。

有山家

この番号は？

有山家の蔵、上段の間、中庭と有山さんのおじさんから説明してもらう。

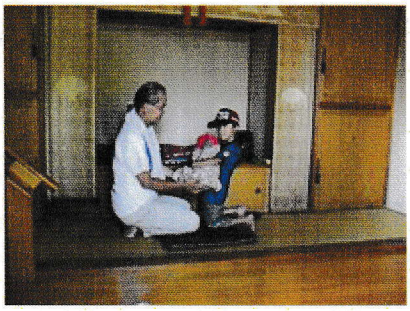
日野用水（日野宿発見隊による用水清掃を見学。猛暑のなかご苦労様です。）



新しくできた親水ひろば

大昌寺　　お地蔵さんをみたあと、
しばし休憩。

お駒止の松→裏山→宝泉寺



宝泉寺
（持ち上げ観音）

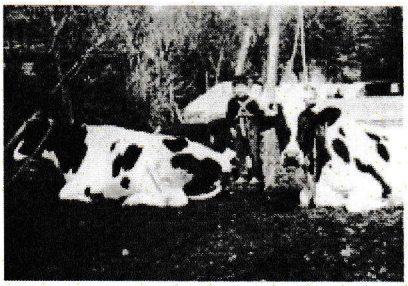
坂下地蔵

大屋（志村家の屋号）　「ひのまちなぞQ」クイズの答え合わせのあと解散
日野図書館　　特大日野図書館判子を押してもらいました。

「まちかど写真館　in ひの - 谷仲山 - 」（第28弾）

日野宿発見隊第２７弾「まちかど写真館 in ひの - 日野宿 - 」に引き続き、第２８弾として、「まちかど写真館 in ひの - 谷仲山 - 」をセイコーエプソン株式会社の川崎街道沿いのフェンス（バス停付近）を中心に、谷仲山地区の当時の撮影場所付近に展示しました。

なお、８月１日（日）午後１時３０分から、セイコーエプソン株式会社内のプレゼ室にてオープニング式典を開催しました。



谷戸の谷長一家（現谷和彦家）

墜落した米軍輸送機

セイコーエプソン前展示会場

憲法記念行事で日野宿発見隊の活動を報告（番外編）

８月１日(土)の午前中、多摩平の森ふれあい館にて、憲法記念行事の一環として日野宿発見隊の取り組みについて、日野図書館の渡辺と石嶋が報告しました。前半に渡辺が経過報告を、後半に昭和４０年頃に制作された映像『躍進する日野市』を上映したのち、地域の方々から提供された日野の用水を中心とした写真や映像を見てもらいました。内容が日野宿という限定したものだっただけに、他の地域の方々にはどんなものかと心配でしたが、平山地区でも発見隊のような取り組みを考えているとの話もあり、今後全市的な広がりにつながればありがたいものだと感じました。

我が家のお宝一品展（第２９弾）

わたしたち日野宿発見隊は、地元の皆さまや商店会、ならびに日野の歴史と民俗の会、そして日野図書館や日野市郷土資料館と共同で、歴史・文化・自然とさまざまな角度から日野宿の再発見に取り組んできました。こうした活動の中から集まった数々の資料は、かけがえのないこの町の大切なお宝です。一つ一つがこの町に生きてきた証であり、人々の生活の記録です。

開催期間	８月１日（日）から翌年２月末日
会　　場	日野宿交流館１階通路
展示内容	地元の家々で大切に受け継がれてきた品々 展示品は順次入れ替え

日野宿発見隊はこうした消えてゆく資料、生活の記録こそが、次世代へ受け継がれていく大切な資料集であるとして、この町の過去・現在を記録する作業を進めています。

展示している一つ一つの品々の後ろには、数多く数多くの物語があります。これをただ保存・記録するだけではなく、この生きてきた証を多くの人にみてもらい、評価される。次世代へ引き継ぐことの意味を考える場でありたいと願っています。

今回、こうした日野宿のお宝をより多くの方々にご覧いただきたく、「我が家のお宝一品」として地元の皆さまから提供いただいた品を展示させていただきました。ゆったりと時間が流れていた昭和の日野宿、その暮しを営んできた先人の思いを感じとっていただけたのではないでしょうか。

デイサービスいずみの森へ（番外編）

８月１２日(木)、午後２時から「デイサービスいずみの森」（東豊田）にて、日野宿のむかしの写真や映像をデイサービスに通園されている高齢者や職員の方々に見てもらいました。これは「いずみの森」に勤務する新村さん（当会員）からの提案を受け、この日伺いました。「野猿峠へハイキング」では皆さん昔訪ねたことがあるようで本当に懐かしいとの声が、また「日野音頭」では映像に合わせて声を出し踊り出される方もいました。皆さん本当に生き生きされているのに驚きました。

日野宿夏祭り（第 30 弾）

８月３０日（土）開催された「日野宿夏祭り」は天候にも恵まれ、第一部「ふれあい子ども横丁」、第二部「夕涼み会」は子どもから年配の方まで多くの来場者を得てにぎやかに開催できました。なお、今回はすべて日野宿交流館にて開催されました。

第一部　ふれあい子ども横丁

谷さんお手製の"たらし焼き
「ガスボンベが異常に加熱
してちょっと危なかったか

落合さん（下町在住）製作の
「ひのっちみこし」の巡行
「けっこう重いんだよ！」

とうろう作り（中央公民館）　ペットボトルを利用したアイディア工作です。

「的に向かってエイ！」
水鉄砲工作（郷土資料館）

「真剣に狙いを定めて...30 円券があたったかな」　輪ゴム鉄砲（日野宿発見隊）

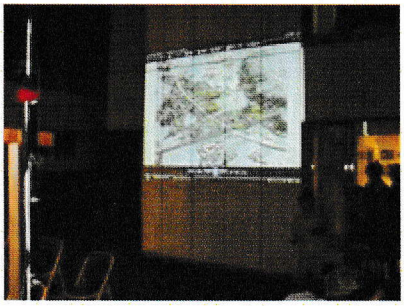
昔、魚や鳥をとったとき使った道具を説明してくれた松本保さん（北原在住）

うちわ作り（仲町やよい会）
きれいに色付けしたマイうちわのできあがり。

第二部　夕涼み会

お囃子（日野囃子保存会）

三味線演奏（夕照会）

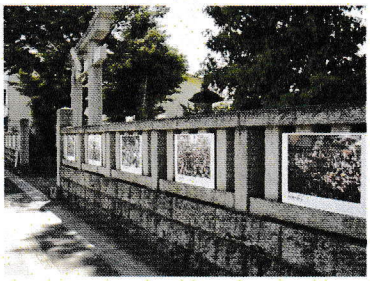


昔の映像上映
（日野宿発見隊）

まちかど写真館 in ひの　－八坂の祭り－（第31弾）

開催期間　９月１日（水）から１２月２０日（月）
展示場所　八坂神社の玉垣ほか

今年で３年目となった八坂の祭り写真展です。明治から平成にわたる八坂神社の祭りの写真を、神社の玉垣に２３点、隣接する花輪病院脇のフェンスに１点、通りをはさんだ竹間宅のフェンスに４点、神社の裏に４点がそれぞれ展示しました。その他、これまでに町中にすでに飾っている写真のなかにも祭りの写真が含まれています。ですからこの時点で町中に飾っている写真はなんと１８０点以上にもなりました。こうした写真から日野のまちに生きてきた人々の息吹を感じ取っていただけたのではないでしょうか。



日本図書館文化史研究会集会で報告（番外編）

９月１２日（日）、実践女子大で開催された図書館文化史研究会研究集会で、「『市民の図書館』を実践する：日野宿発見隊の活動」と題して、渡辺生子日野図書館分館長（プロジェクター操作：石嶋）が報告しました。

今年は『市民の図書館』が刊行されて４０周年目にあたります。当時の図書館界が打ち

立てた「市民の図書館」の思想がどう育ってきたのか、前日のパネルディスカッションに引き続き、この思想の実践館として、日野図書館の活動を報告したものです。

子ども発見隊「まちを調べよう！パート２」

開催日　１０月２日（土）　午前９時 - １２時
場　所　谷仲山方面
参加者　子ども１３名　大人１９名　　計３２名
案内人　谷富二さん（谷戸）　加地勝さん　井上博司さん

まちを調べよう！第２弾として、今回は、現在「まちかど写真館 in ひの　-谷仲山-」開催中の谷仲山地区を訪ねました。特別案内人として谷戸在住の谷富二さんにお願いしました。

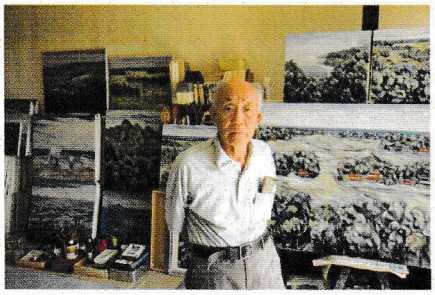
大昌寺

生活・保健センター
高速道路下に展示されている昔の写真見学
神明社
仲井の地蔵堂

仲井の地蔵堂

平野哲夫宅

平野さんは画家でもあります。戦争当時の様子を描いた絵や地域の昔の様子を描いたスケッチ画をはじめ、貴重な品物を見せてくれました。何といってもガレージの壁一面に貼られたスケッチ画や戦時中の爆弾の破片などをテーブル一面に展示して、私たちを待っていてくださったのには本当に驚きでした。



谷富二宅

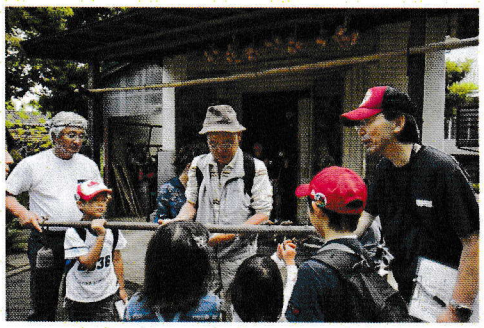
手押しの井戸を体験。ちょっと恥ずかしいとためらっていた高学年のお姉さんも背中を押されてやってみると...。

谷和彦宅

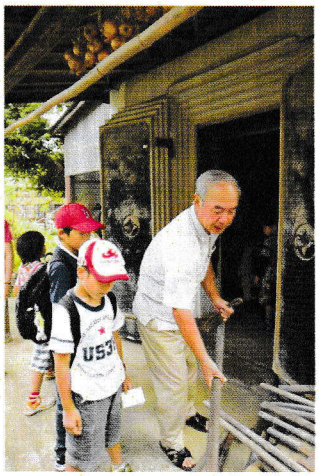
防空壕としても使われたという洞穴を見学。けっこう中は奥行きがあるのにびっくり。暗い中でのちょっぴり怖い体験でした。

谷正幸宅

百年以上も前の蔵に上がらせてもらいました。



秤の実験に夢中！



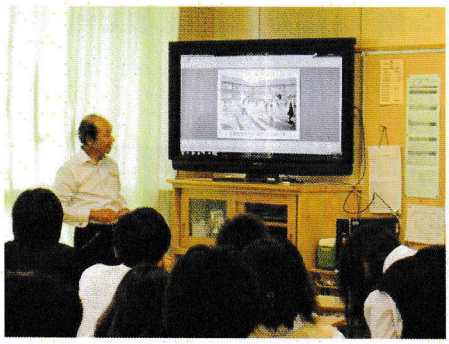
滝瀬明宅（タキセ製作所）

今回のメインイベント。子どもたちがとても楽しみにしていた人が乗れる模型電車に乗車。日本でも数少ない模型電車・汽車工作を手掛けている滝瀬さんの工作室や作品にとても驚きました。

滝瀬さんから特製キーホルダーをいただいた後、記念写真を撮ってもらい、ここで解散となりました。

日野一中道徳授業地区公開講座へ（番外編）

昨年に引き続き、今年も１０月９日（土）、日野一中で開催された道徳授業地区公開講座に、日野宿発見隊から１１名が講師として招かれました。当日は３年生５クラスに２名づつにわかれ、郷土愛をテーマにした「わが町　日野」を写真や映像を交えて行いました。



写真を説明する安西清さん

公開授業の後、保護者・教員向けに、日野図書館分館長渡辺が日野宿発見隊の活動を紹介しました。

なお、後日生徒たちから各講師に感想文をいただきました。そのなかに、当日曽我さんから「夢・希望・努力」という言葉（書）を紹介された女生徒からとても感動したという感想が寄せられ、早速曽我さんからその書がプレゼントされました。

日飛火野ロータリークラブで写真や映像を上映（番外編）

１０月１２日（火）、安西清さんの紹介で、高幡不動尊内の信徒会館で開催された飛火野ロータリークラブの例会に、日野図書館の渡辺と石嶋が招かれ、日野宿発見隊で収集した昭和３０年代の写真や映像を見ていただきました。

当日あいにく安西さんは病気で欠席でしたが、日野駅前郵便局長の渡辺さんや会計士の星野さんなどおなじみのお顔があり、カレーライスをいただいた後、短い時間でしたが、「野猿峠へハイキング」など故東尚士さんが撮影した映像を中心に見ていただきました。

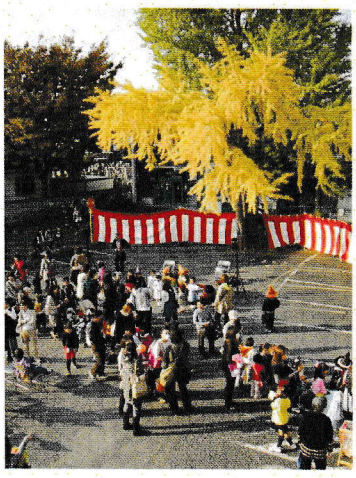
第３回イチョウ祭り（番外編）

中央公民館前にあるイチョウの木は３本の木が１本の木のように寄り添うイチョウです。

紅葉の季節になるとまず低い方の木が先に色づきはじめ、しばらくして高い方の木が色づくという不思議なイチョウです。そのため低木の黄色と高木の緑色の絶妙なコントラストを醸し出し、やがて全体が黄金色に覆われ最高潮に達します。

ふれあい商店会では中央公民館の協力をえて、１１月８日（月）午後からこのイチョウの木のセレモニーを開催しました。日野宿発見体のメンバーもお手伝いしました。一小の２年生をはじめ幼稚園の子たちとたくさんの人出となり、商店会提供のおでんや焼き鳥をいただきながらひとときこのめずらしいイチョウのコントラストを楽しみました。

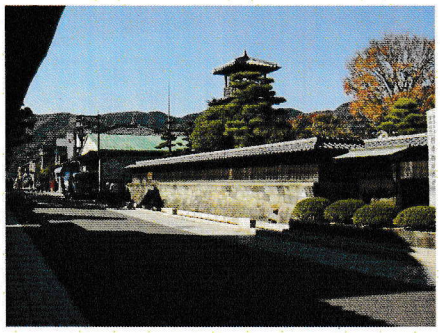
なお当日は、先に中止となっていたハロウィーン祭りを同時に開催しました。



イチョウのいわれを話す猪鼻さん

研修旅行「東海道由比宿」

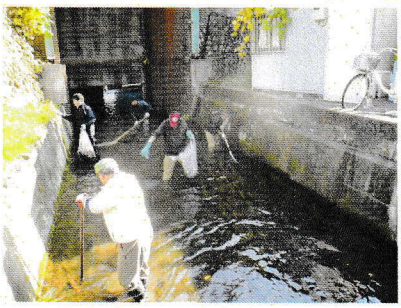
１１月２９日（月）、日野宿発見隊研修旅行として東海道の「由比宿」へ行ってきました。いなげや日野駅前店前に８時に集合し、マイクロバスにて中央道経由で由比宿へ。途中、車窓から見えた名峰富士にうっとりしながらのバス旅行でした。参加者２０名。



一日天気にも恵まれ、東海道の由比宿でまち造りのヒントももらい、またさくらえびなど珍味を食することもでき、日野宿発見隊メンバーのつながりをいっそう深めた研修旅行となりました。

用水を清掃しよう！（第 32 弾）

１１月２７日（土）の午後１時から、恒例の用水清掃を行いました。場所は日野駅北側の中央線の下を流れる日野用水上堰付近です。参加者７名。



昨年に比べれば少なくなったのではないかと感じますが、それにしてもまだまだ心ない人がいるのがよくわかりました。そんななか、上流から流れてきたのでしょうか、立派なニンジンが３本でてきたたりしてつい微笑んでしまいました。

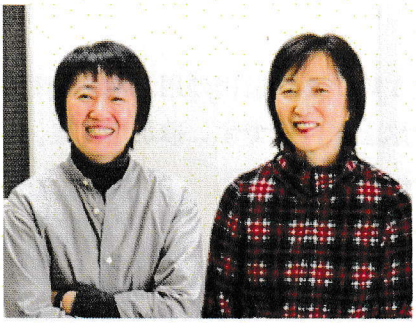
（追記：報告者は見ませんでしたがアユの死骸も１匹あったそうです。）

絵本『ひのっ子日野宿発見』刊行

１月末、絵本『ひのっ子日野宿発見』を刊行しました。

この本は独立行政法人国立青少年教育振興機構による「平成２２年度地域ぐるみの子ども読書活動推進事業」の委託を受け、地域の小学校、中学校、ＰＴＡ、商店会など多くの方々のご協力をえてできた絵本です。

絵を栄町在住の広田美穂さん、文章を谷仲山在住のおおぎやなぎ ちかさん、構成を大坂上在住の井上博司さんが担当されました。



広田さんとおおぎやなぎさん

制作にあたっては、日野第一小学校、東光寺小学校、仲田小学校、日野第一中学校の教職員及びPTAの役員の方々、商店会、自治会、郷土資料館職員などの方々のご意見をお聞きしながら、粘り強く討議を重ねここに上梓したものです。

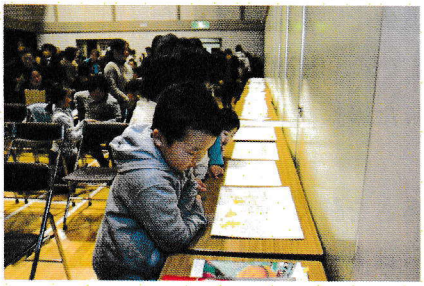
なお、内容の検討を進めるなかで、子どもたちの参加をえて、「日野宿子ども発見隊」を組織し「まちを調べよう！パート１　パート２」などの取り組みや、学校に出向いてお地蔵さんの話をさせてもらうなど、子どもたちの素直な感想や反応を見させてもらう機会を持ちました。

ですから、この絵本を制作するにあたって子どもたちの存在は本当に大きなものでした。

広田さんもおおぎやなぎさんも、子どもたちにとってわかりやすく、かつ心に残るような絵本、手にとってまちのなかに出たくなるような絵本を作りたいとの思いで、実に精力的に取り組んでくださいました。

おかげで、制作に関わった人たちの願いが十分生かされた絵本になったのではないかと思います。私たちのその思いが伝わったのでしょうか、子どもたちもこの絵本の完成をたいへん喜んでくれています。

また、刊行報告会には１３０人近い方々が出席されました。子どもたちばかりでなく、地域の人たちにとっても地元の歴史を知るための貴重な１冊として心から歓迎してくださったようです。関係者の皆さん本当にお疲れ様でした。心より御礼申し上げます。



国立青少年教育振興機構高藤課長

児童による朗読

児童代表による絵本贈呈

なお、喜多耕一郎さんにより WEB 版『ひのっ子日野宿発見』も現在準備中です。絵本を読んで、もっと知りたいと思った子どもたち、また先生や大人の方たちにも十分利用してもらえる内容となるでしょう。

東北関東大震災被害者への支援募金活動（番外編）

３月１７日（木）夕方、日野駅前で、この度の大震災被害者への支援募金を行いました。日野宿発見隊として今できることはと考え、今回の募金活動になりました。参加者１４名。

２時間強という短い時間でしたが、多くの方々のご支援をいただき、３１９，７４７円の義援金をいただくことができました。ご支援いただいた方々に感謝申し上げます。早速、１８日（金）午前、早速昨日分の義援金日野市長にお渡ししました。

なお、引き続き３月１８日（金）、夕方５時半から日野駅前で募金活動に取り組み、１６５，４８７円の義援金をいただきました。このお金も３月１９日（土）午前、日野市役所に届けました。参加者８名。

２日間の募金活動で合計４８５，２３４円の義援金をいただきました。

この後、３月 19 日（土）から３月 31 日（木）までに、9,733 円の義援金をいただき、31 日に日野市役所に届けました。これまでお預かりした義援金は合計で４９４，９６７円となります。

今回の未曾有の大災害に対する皆さんの関心の高さを強く感じます。

お預かりしたこの義援金はすべて日野市役所から日本赤十字社を通じて、この度の震災被害者の方々へ送られます。

日野駅前にて募金活動中

仲田小学校校名板贈呈式

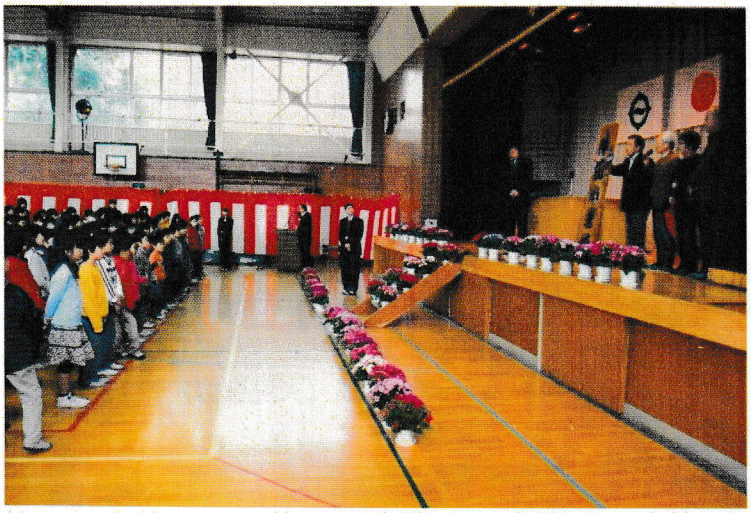
３月２４日（木）、仲田小学校の終業式にて、完成した校名板のお披露目式に製作者の落合等さんほか４名で出席してきました。

体育館の壇上に招かれ、千代谷和紀校長先生からご紹介いただいた後、子どもたちに看

板がお披露目されました。

この後、滝本代表から「校名板に使われたこの楠の木は日野一中にあった木で、校舎建て替えにともない、やむなく伐られましたが、何か記念になればと考え、地元の材木屋『マルセ』のご厚意で製材していただき、昨年の日野一小に引き続き、今年、仲田小の校名板として生まれ変わりました。どうか皆さん大事にしてあげてください」との挨拶がありました。

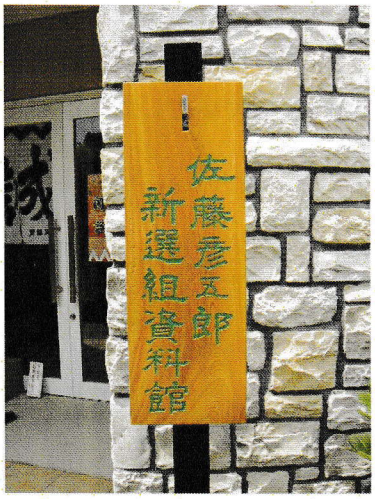
製作者の落合さん



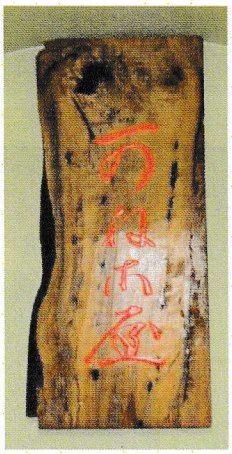
続いて、製作者の落合さんから、「楠の木はかなりにおいのある木なので苦労しました。どうかこの校名板をおじさんだと思って、いたずらなどしないで大事にしてほしい。」など、製作中の苦労話や子どもたちへのお願いを話されました。

日野宿発見隊が取り組んでいる屋号看板の再生プロジェクトにまたひとつ確かな足跡が刻まれました。

完成した屋号看板（今年度分）



佐藤彦五郎新選組資料館



金子屋（安西清家）

釜屋（三浦清司家）

魚萬（天野魚店）

鍛冶鐵（小島秀夫家）

鑰屋（谷享司家）